



# Monthly YSFH News (Electronic version)

発行：横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 TEL:045-511-3654 FAX:045-511-3644  
HP:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/sidou2/koukou/sfh/>

初夏の日差しがさわやかに感じられる季節となりました。皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

本年度もスーパーアドバイザーや科学技術顧問の皆様のご協力をいただき、サタデーサイエンスやサイエンスリテラシーなど本校の魅力ある取組が始まりました。本年度入学した1年次生は、熱心に講義に聴き入り積極的に質問する姿から、今後の活躍に期待が持てそうです。

2年次生は、サイエンスリテラシーⅡが始まり、テーマを決めて自分の研究に取りかかります。9月の分野別発表会、10月のマレーシア研修旅行での発表を目指して研究を進めます。皆様方のご支援をどうかよろしくお願い申し上げます。

## 3月26日(火) - 28日(木) 【ブリティッシュヒルズ語学研修】

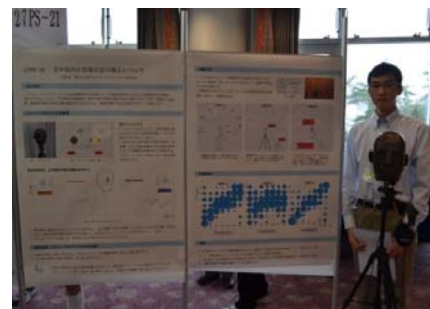


British Hills (福島県岩瀬郡天栄村) にて行う国内語学研修で、「中世英国様式の雰囲気のある施設で、英国人講師と楽しく役立つ3日間のアクティビティを通じて異文化理解と国際人養成を目指すこと」を目的としています。今回は校内選抜を突破した29名が「英語での講義 (Lesson1から5)」、「Speech Contest」、「テーブルマナー研修」などに参加しました。国内での本格的な語学研修であり、参加した生徒たちには貴重な経験となりました。

## 3月27日(水) 【日本物理学会 第9回Jr.セッション】

広島大学にて開催され、本校2期生柏崎紘さんが参加しました。

柏崎さんは「正中面内の音像定位の矯正について」という内容でポスター発表を行いました。これは以前和田サロンで発表・議論を行った内容であり、研究は当時と比較しさらに深化していました。概要は「正中面内の音源について定位実験を行い、被験者が音源を直接傍受する場合とダミーヘッドを介して傍受する場合を比較して、音像定位の精度差を確認した。また、傍受者が実験に使用する刺激音をあらかじめ経験することで、音像定位の精度への影響があるか調べた。最後に精度を改善する矯正音源への応用を考察した。」というもので、「奨励賞」を受賞しました。



## 4月8日(月) 【第5回 入学式】



第5回入学式を行い、新入生238名が入学しました。まずは第5期生の誇らしげな入場から始まり、「学校長のことば」では和田昭允常任スーパーアドバイザー及びディビッド・トンプソン・セカンダリースクールのIona Wishaw校長からのお祝いの言葉を披露させていただきました。その後【人が集まれば化学反応が起きます。第5期生の皆さん、この学校で色々な化学反応を起こしていきましょう!】という「歓迎のことば」、そして「新入生誓いのことば」では【夢を成し遂げるため、勉強だけでなく人間的にも成長していきたい】と力強く宣言をしてくれました。YSFHの歴史の5ページ目が始まりました。

## 4月12日(金) 【平成25年度 第1回和田サロン】

前期は入学したばかりの第5期生を対象として、クラス別に行われます。生徒たちは最初緊張していましたが、一人が質問を行うと、次々と質問が出てきました。和田先生が「光」の話をするれば、「水も光も波なのに、光は遠くまで届き、水は波が消えるのは何故か?」という質問があり、「杉の木はまっすぐ伸び、重力が関係している」という話をすれば「無重力空間で育てるとどうなるか?」などの質問がありました。

活発な意見交換こそが和田サロンの醍醐味です。今年度も素晴らしい議論が行われることでしょう。



## 4月12日（金）【カナダ大使館来校】



カナダ大使館のローリー・ピーターズ参事官、アラン・シュローダー広報・教育プロモーション担当官にご来校いただき、「カナダバンクーバー姉妹校交流報告会」を行いました。帰国して間もない時期だったこともあり、生徒の想いも表情もとても新鮮で生き生きとしており、「自分にとってどのような研修だったか」「今後どうしていきたいか」など非常に印象的な報告をしてくださいました。

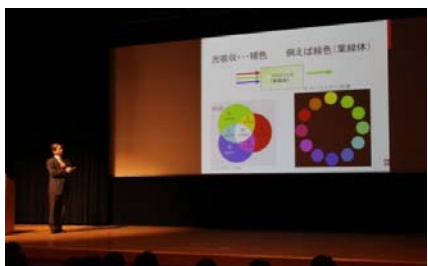
大使館の方々には、大変好感をもっていただき、「このような関係を今後も発展させていきたい」と前向きなコメントをいただきました。今後も姉妹校であるデイベッド・トンプソン・セカンダリースクールとの交流を続け、横浜とカナダの絆を深めていこうと希望に燃える会となりました。

## 4月15日（月）【サタデーサイエンス：藤嶋 昭先生講演会】

本年度第1回目のサタデーサイエンスであり、本校スーパーアドバイザー藤嶋 昭先生（東京理科大学学長、東京大学特別荣誉教授）に講義をしていただきました。藤嶋先生の講演会では毎年質問を希望する生徒が多く、今年も約100名が長蛇の列をなし、時間の関係で各クラスの代表者24名が質問をすることになりました。写真はその時の様子です。生徒からは「光触媒は白色なのに、鏡に塗ると透明になるのは何故か？」など質問が出て、藤嶋先生はその全てに丁寧にご回答いただきました。時間も30分延長することになり、大変盛り上がったサタデーサイエンスとなりました。



## 4月17日（水）【サイエンスリテラシーⅠ：光のサイエンス】



横浜市立大学の篠崎 一英先生（国際総合科学部 教授、自然科学系列長）にご来校いただき、講義をしていただきました。物理学の入門的テーマである光を入りに、サイエンスへの興味を高めリテラシーの向上をはかることを目的とし、「虹の七色の理由」「空の色はなぜ青いのか？」「水は何色？（光の吸収）」など、大変興味深い内容の講義でした。

講義後は、「本講義で扱った太陽光の分光（虹色を取り出す）方法について説明しなさい」という事後課題をいただき、改めて光という身近なものについて、興味深い現象を作り出すことができるということを感じた1日となりました。

## 4月23日（火）【進路ガイダンス（分野別発表会）】

毎年2年次生を対象に行っており、今年度も21分野の大学の先生方にお越しいただきました。生徒たちは、この分野の中から希望する2分野の授業を受け、魅力ある授業にますます学習意欲を高めていました。参加した生徒の感想は以下のとおりです。  
○普段聞くことのできないことばかりで、とても刺激的になった。  
○自分の知らない世界も多くあると改めて感じた。大学は色々な学部があるので、たくさん調べて将来について考えたい。



## 4月23日（火）-24（水）【1年次 宿泊研修】



毎年1年次を対象に「国立オリンピック記念青少年総合センター」にて行い、「サイエンスでの勉強の仕方」を学んでいます。

「グループワーク」では、「時間内に4つの課題を与えられた条件に基づいてクリアする」という取り組みを行い、中には栗原校長直々の課題の出題もありました。1つの課題クリアに夢中になりすぎて、他の課題までたどり着けないグループもありましたが、生徒たちはどの課題にも協力しながら一生懸命に取り組んでいました。最後には、和田昭允常任スーパーアドバイザーより、「生命はなぜ不思議なんだろうか？」という講話をいただき、「サイエンス生としての学び」とは何かを考える宿泊研修となりました。

## ●5月、6月の予定●

5月1日：生徒会選挙

5月7日：開校記念日

5月21日-24日：中間テスト

6月8日：オープンスクール

6月9日-15日：シンガポールブレインキャンプ

6月14日：体育祭

6月23日：全公立展（パシフィコ横浜）